

(3) 展開方向 ウ) 農業水利施設の長寿命化・耐震化・洪水対策の推進

【主な取組】

- 農業水利施設の効率的な更新整備や保安全管理の推進

県内には、受益面積100ha以上の基幹的農業水利施設が315施設あります。内訳は、水路が241路線（延長約640km）、ダム・頭首工・揚水機場等が64箇所、ため池が10箇所となっており、そのストック額（建設費）は1,200億円に及んでいます。

しかし、これらの施設は昭和30～40年代の築造が多く、耐用年数の経過や老朽化の進行により、安定的な農業用水の確保に支障を来しています。このため、既存ストックの有効活用の観点から、適切な機能診断と予防保全対策により農業水利施設の長寿命化を図り、これらのライフサイクルコスト（建設・維持管理等にかかるすべてのコスト）の低減を通じて、時代の要請に対応する効率的な更新整備や保安全管理を推進します。

- 農村の防災対策の推進

自然災害から農村地域住民の生命・財産を守るとともに、県土を保全し、安全・安心な農村づくりのため、ため池整備や地すべり防止など農村の防災対策を推進します。

【活用する主な事業】

基幹水利施設ストックマネジメント事業、地すべり対策事業、湛水防除事業、農業用河川工作物応急対策事業、ため池等整備事業 など

【三八地域の主な実施地区】



農業用河川工作物応急対策事業
上川原地区（三戸町、H26～H29）
頭首工の改修



農業水利施設魚道整備促進事業
堅田地区（田子町、H27～R1）
頭首工及び魚道の改修



ため池等整備事業
穴久保地区（南部町、H27～H30）
ため池の整備



ため池等整備事業（用排水施設整備）
三川目地区（新郷村、H28～R4）
農業用水路の改修



基幹水利施設ストックマネジメント事業
頭首工の調査



ダム管理事業
花木地区（田子町、S49～）
防災用ダムの維持管理